

資料1-①

●令和6年度のケアプラン総数

基準月	ケアプラン作成数	直持ちプラン件数	委託プラン件数	委託率（％）
令和6年3月	210	7	203	96.7%
令和7年3月				

R6.12月時点 篠田4件 坂本2件 三上1件

	事業の内容	門真市目標値		前年度実績		活動計画		上半期実績		当該年度実績		自己 評価	前年度の反省を踏まえた当該年度の目標	上半期の活動内容 のまとめと課題	上半期実績に対する 市の講評	当該年度活動内容のまとめと 課題	当該年度活動実績に対する市 の講評						
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数												
ケア マネ ジメン ト業務	事例検討会	1			2		1	14	0	0	1	15	3	地域住民や利用者のニーズに合わせた高品質の支援サービスを提供するため、専門的な知識とスキルの習得を目指し、地域の福祉、医療、介護に関する情報や知識の向上を図ります。また、地域の連携やネットワークを構築し、ケアマネ同士で情報交換ができる仕組みを整備します。	利用者ニーズ調査などを検討。職員研修（メイト養成・虐待対応・認知症推進員）を推進し、専門性向上。ケアマネジャーとの連携強化、認知症カフェに対してケアマネジャーの参加者増加、K3会議での検討会実施など、地域連携を深化。今後は地域住民と事業所と連携し、防災対策を強化検討（訓練を予定）。	事例検討会11月、9月には法定外研修を開催予定である。元気はつつつ教室は委託が難しい状況、事業所の受け入れが少ないこと等の課題があるため、課題解決に向けて、引き続き市に協力いただきたい。ネットワーク会議等については順調な回数と数字であるため、継続していただきたい。地域住民と事業所の連携を今後も継続してもらいたい。	地域住民や利用者のニーズに応じた支援サービス提供を目指し、福祉・医療・介護に関する知識向上と地域連携を強化します。2月27日の圏域会議では地域ニーズ発掘のためのアンケートを実施予定。ボランティア資源開発に関してはシルバー人材センターとの重複が課題であり、引き続き検討を行います。ネットワーク会議を通して、地域ニーズに基づく方向性を決定します。	事業所、地域住民の協力が必要なことに対して包括として医・介・福祉の摩擦を少なくする対応を今後もお願いしたい。さまざま、事業所があるが包括としてのフォロー体制がとられており、今後も事業所のフォローをお願いしたい。					
	うち、他圏域との合同開催数				9				0	0	1	120											
	研修会（法定外研修含む）	2			3		4	200	0	0	1	78	4										
	うち、他圏域との合同開催数				3				1	78	3	210											
	ネットワーク会議（圏域地域ケア会議以外の医療・関係機関等との意見交換の場など）	2				27		27	200	14	169	23	313						4				
	元気はつつつ教室利用者数（直持ち）		20				0		10		3		5						2				
	元気はつつつ教室利用者数（委託）						0		10		0		1						1				
元気はつつつ教室終了後ケアマネジメントB算定件数（3か月後／6か月後）		12				0		10		3		5	2										
ケア 地域 会議	個別地域ケア会議（実件数）	延べ3			延べ5	1	延べ4		延べ2（実2）		延べ2（実2）		3	地域住民のニーズを把握するため、アンケートやコミュニティコーピングを実施した。その内容で出た課題を圏域会議でさらに充実して生きたい。引き続きネットワークを活用し開催を検討します。	出前講座などを実施し、高齢者の健康増進を図る取り組みを開始した。しかしながら、地域全体への波及効果は十分とは言えず、継続的な活動を通して、地域住民との関係性を深めていく必要がある。	健康増進を図る取り組みを継続し、地域住民との関係を深め継続的な活動を支持してもらいたい。圏域ケア会議で猫問題を取り上げ、ボランティアとの会議等に参加し、資源開発につながるように検討されていることは非常に良い。	地域住民のニーズを把握するためアンケートを実施し、課題を圏域会議で掘り下げます。資源不足を感じ、高齢分野での支援可能性をネットワークで繋げていきます。	地域住民のニーズを今後アンケートを通して把握し、必要な支援の分析を行い課題調査を今後すすめてもらいたい。					
	圏域地域ケア会議	1			2		1	20	1	36	1	36							3				
把 介護 予防 事業	基本チェックリスト実施件数		30			48		50		27		32	2	各教室イベントなどで基本チェックリストを活用し、事業対象者相当のお宅に訪問し、介護予防把握に努める。	各教室イベント等において、基本チェックリストを用いた訪問を実施し、介護予防の把握に努めている。目標50件に対し、現時点で27件を達成。引き続き、各会場での実施を継続。	上半期は順調な件数であり、引き続き、介護予防の把握に努めてもらいたい。	同一の利用者が増加しているため、今期は教室での実施を控え、新たな場所での実施を検討します。	年間を通して 目標以上の実施をしていただいており、課題にされている新たな場所でのチェックリストを活用し介護予防の把握に努めてもらいたい。					
	上記のうち総合事業につなげた件数									2		5											
普及 介護 予防 事業	介護予防教室	12	120	18	224	12	120	9	128	13	177	3	介護予防の正しい情報を定期的に発信し、地域住民の意識向上を図るとともに、地域住民が介護についての理解を得ることで、地域包括支援センターの相談に早期につながり、早期対応することができる。地域住民の健康増進や介護予防につながる取り組みを検討しながら教室を開催していきます。	介護予防に関する正しい情報を定期的に発信し、地域住民の意識向上を図る取り組みを実施しました。昨年度と比べても全体として参加者数が増加傾向にあります。地域住民が介護についてより理解を深め、地域包括支援センターへの相談に繋がっていると考えられます。また、新しい職員の積極的な取り組みも、参加者増加の一因となったと思われます。一部の参加者からは、疑問に感じたことなどで教室開催の要望も寄せられています。	教室や出前講座の回数が多く、力が入っていることがうかがえます。食事会や防災、運動等様々なテーマで教室を開催し、淡々と話をしてもらったり、和やかな雰囲気でも実施できるように工夫をされており。介護予防につながる取り組みを今後も継続してもらいたい。	介護予防の正しい情報を定期的に発信し、地域住民の意識向上を図ることで、早期に地域包括支援センターへの相談が促進され、迅速な対応できるようになってきました。相談の数は教室の参加者から紹介で連絡したという件も出てきています。介護予防教室を通じて地域のつながりが生まれ、通いの場などでの理解促進にも努めていきます。	参加人数が減ってきていることに対して、原因分析もされておりそれぞれの参加者を増やす努力がされているという話があったため、今後も参加者を減らさないように努めてもらいたい。また、介護予防教室を通して包括の周知ができ、早期の総合相談につながるケースも出てきている。						
	うち、他圏域との合同開催数					0	0			0	0												
	出前講座			3	60			13	218	14	232	4											
	うち、他圏域との合同開催数							0	0														
	介護予防教室・出前講座以外の普及啓発活動	1	10				1	10	1	10	3	76						4					
うち、他圏域との合同開催数									0	0													

